

事務事業名	消防本部消防活動事業		所属部局	消防本部		単位番号	13032			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	南アルプス消防署		課長名	芦沢 俊一			
			所属担当	第1部警防救助		担当者名	浅野浩一			
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	計画体系	06 安全な環境づくり	事業区分	01	一般	09	01	01	030	16
施策		08 防災体制の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	法令根拠		消防組織法、南アルプス市消防署組織規程、消防隊出場規程						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	消防活動の拠点となる南アルプス消防署(甲西分遣所含む)及び八田消防署の消防活動・救助活動に要する事業費用。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
	①消防活動、救助活動における消耗品・資器材購入 ②県消防職員救助技術訓練大会用資器材(消耗品)購入 ③消防用機器保守点検手数料 ④消防活動で発生した廃油処分及び油処理剤処分委託料			消耗品費	2,246					
			手数料	582						
			その他委託料	18						
			機械器具購入費	1,521						
					計	4,367				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容: 消防活動(火災・偵察・PA・水防)、救助活動	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
	27年度活動予定: 消防活動(火災・偵察・PA・水防)、救助活動		名称 単位
			ア 消防活動出場件数 件
			イ 救助活動出場件数 件
			ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	①南アルプス市民等 ②管内の防火対象物(工場、店舗、学校等) ③火災・交通事故・水難・機械事故等で救助を必要とした者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
			名称 単位
			ア 人口 人
			イ 管内防火対象物数 件
			ウ 救助活動対象者数 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	①火災等の活動により被害を軽減する。 ②傷病者を安全な所に救出し、損傷を軽減する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
			名称 単位
			ア 火災事故等の死者数 人
			イ 救助人員数 人
			ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民等の安全安心が保てることや、火災及び事故等による被害を未然に防止し、かつ速やかな活動を通して被害を軽減する。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
			名称 単位
			ア 消防救助活動支障件数 件
			イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	1,098	1,147	1,230					
		一般財源	千円	3,084	3,266	3,137	4,041	4,532	4,532		
		事業費計(A)	千円	4,182	4,413	4,367	4,041	4,532	4,532	0	
		正規職員従事人数	人	36	36	36	36	36	36		
人件費	延べ業務時間	時間	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600			
		人件費計(B)	千円	16,384	16,384	16,384	16,384	16,384	16,384	0	
		(A)+(B)	千円	20,566	20,797	20,751	20,425	20,916	20,916	0	
活動指標	ア	件	240.0	267.0	267.0	300.0	300.0	300.0			
	イ	件	31.0	19.0	25.0	25.0	25.0	25.0			
対象指標	ア	人	73,684.0	73,070.0	72,900.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0			
	イ	件	2,216.0	2,682.0	2,725.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0			
	ウ	人	16.0	16.0	21.0	16.0	16.0	16.0			
成果指標	ア	人	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	イ	人	16.0	16.0	21.0	16.0	16.0	16.0			
上位成果指標	ア	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年4月1日に6町村の合併により南アルプス市消防本部となり、それ以降南アルプス消防署、八田消防署及び甲西分遣所の消防活動、救助活動に要する活動事業費用として執行している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	厳しくなる市財政状況は消防業務においても同様であり、活動等に影響しない部分の経費節約に苦慮している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	消防活動事業であるので、関係者からの意見要望は特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	消耗品等の在庫管理の徹底と見直しを行ない、購入品目の精査を実施している。また、消防資器材については、取扱い方法の再検討をして丁寧な扱いを心掛けている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	同上

事務事業名	消防本部消防活動事業	所属部	消防本部	所属課	南アルプス消防署
-------	------------	-----	------	-----	----------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 この事業は、防災体制の充実により住民の安心安全のまちづくりを掲げているので、政策体制に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 消防組織法第8条により市町村の消防業務は、当該市町村の消防が果たす責任とされており、妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 消防活動の拠点となる南アルプス消防署(甲西分遣所含む)及び八田消防署の消防活動・救助活動に要する事業であるので、将来にわたり、維持・継続する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要となる消防活動を研究し、本事務事業に必要な事業を検討する。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 各活動を行わなければならない、消防業務に支障をきたし結果として消防力の低下となる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 消防活動の拠点となる南アルプス消防署(甲西分遣所含む)及び八田消防署の消防活動・救助活動に要する事業で、その年度で必要となる適正な事業費であるので、削減の余地は無い。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 教育を通じて身につけた消防独自の業務であり、臨時職員や外部委託としては簡単にできる業務ではない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 妥当である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近年特に、救急隊との連携するPA活動等の出勤が多いため、各消防機器機材への負担が増加していることにより、増額も検討する。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 現状を維持しつつ、より高度な緊急態勢を検討していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 必然の経費であるが、無駄なく最善の緊急活動に向けて検討を図る。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					